



「雰囲気」 ～大相撲 道川場所～

先日、大相撲道川場所千秋楽を迎えました。

本分教室で恒例となっている学習、「紙テープ相撲」です。紙テープを長い輪にして互いに引っ張り、紙テープが切れなかった方の勝ちになります。

微妙な言い回しですが、距離を取って「間接的に直接関わる」活動であり、コロナ禍における適した題材だな、と感じています。

雰囲気は、さながら大相撲ばりです。それぞれが四股名をもち、呼び出しを行い行司（教師）が勝敗をさばきます。

「はっけよ～い、のこった！」「のこった！のこった！」掛け声に合わせて紙テープをタイミングよく引っ張ったり、力を緩めたり・・・。

これまでの学習でできるようになった動きを全て出し切り、勝ちを目指します。取組のない児童生徒の応援も、心なしかいつもより盛り上がっているように感じます。

優勝、三賞をそれぞれ受賞し、大盛り上がりの千秋楽を終えました。

雰囲気づくりは、意欲的な活動を支える大切な支援だと思いました。



【はっけよ～い のこった！】

